

決算説明会

2015年3月期

2015年5月8日
ミネベア株式会社

1. 業績の説明

2. 経営方針と事業戦略

業績の説明

常務執行役員 依田博実

売上高、営業利益、経常利益、純利益が 過去最高を更新

(百万円)	2014年3月期	2015年3月期	前年比 伸び率	2015年3月期計画 (2015年2月修正)	
	通期	通期		通期	達成率
売上高	371,543	500,676	+34.8%	490,000	102.2%
営業利益	32,199	60,101	+86.7%	58,500	102.7%
経常利益	28,065	60,140	2.1倍	57,000	105.5%
純利益	20,878	39,887	+91.0%	36,000	110.8%
一株当たり 純利益 (円)	55.94	106.73	+90.8%	96.33	110.8%

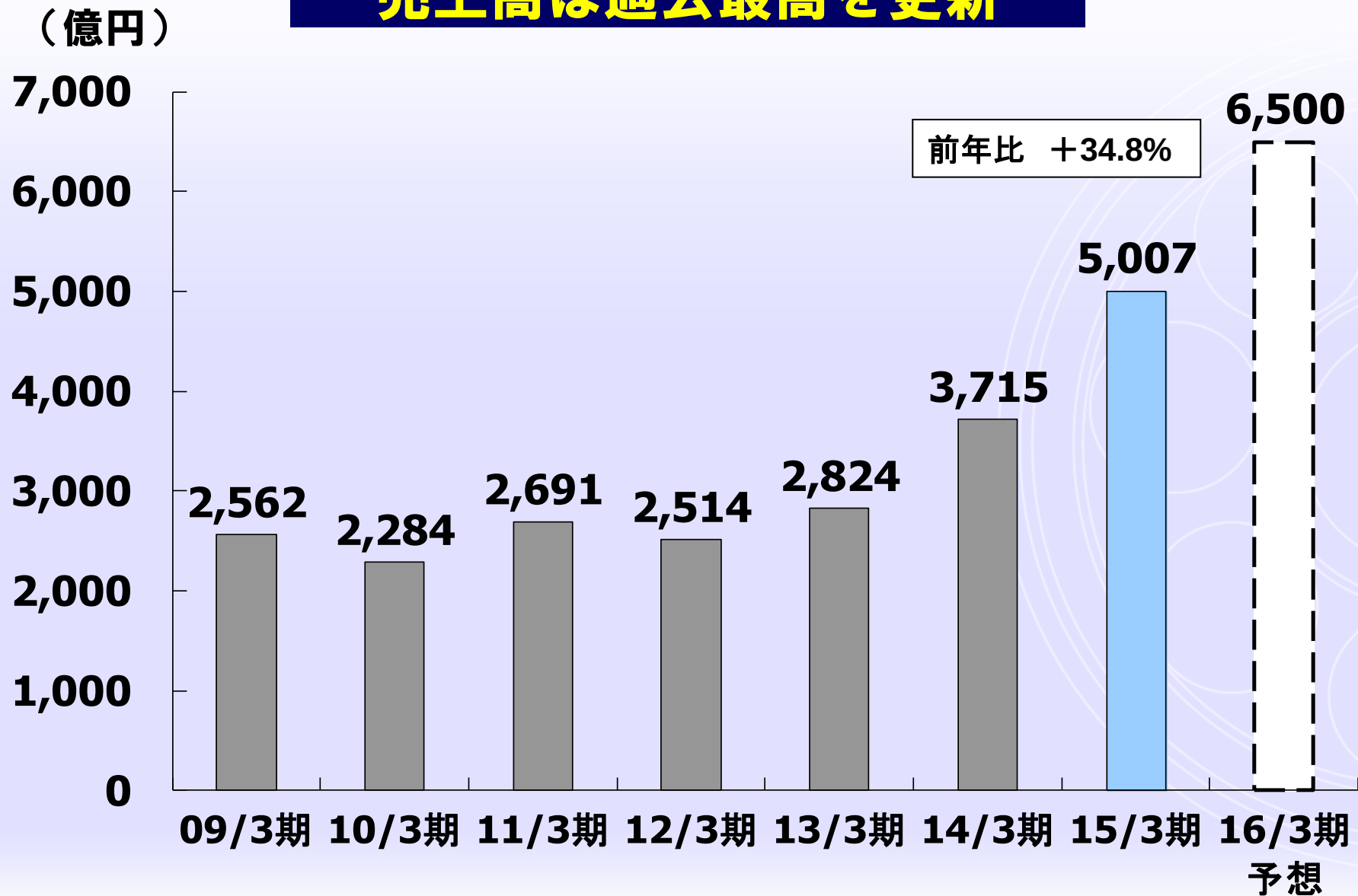
為替レート	14/3期 通期	15/3期 通期
US\$	99.76円	109.19円
ユーロ	133.38円	139.38円
タイバーツ	3.18円	3.37円
人民元	16.28円	17.60円

8 四半期連続で、計画を上回る業績を達成

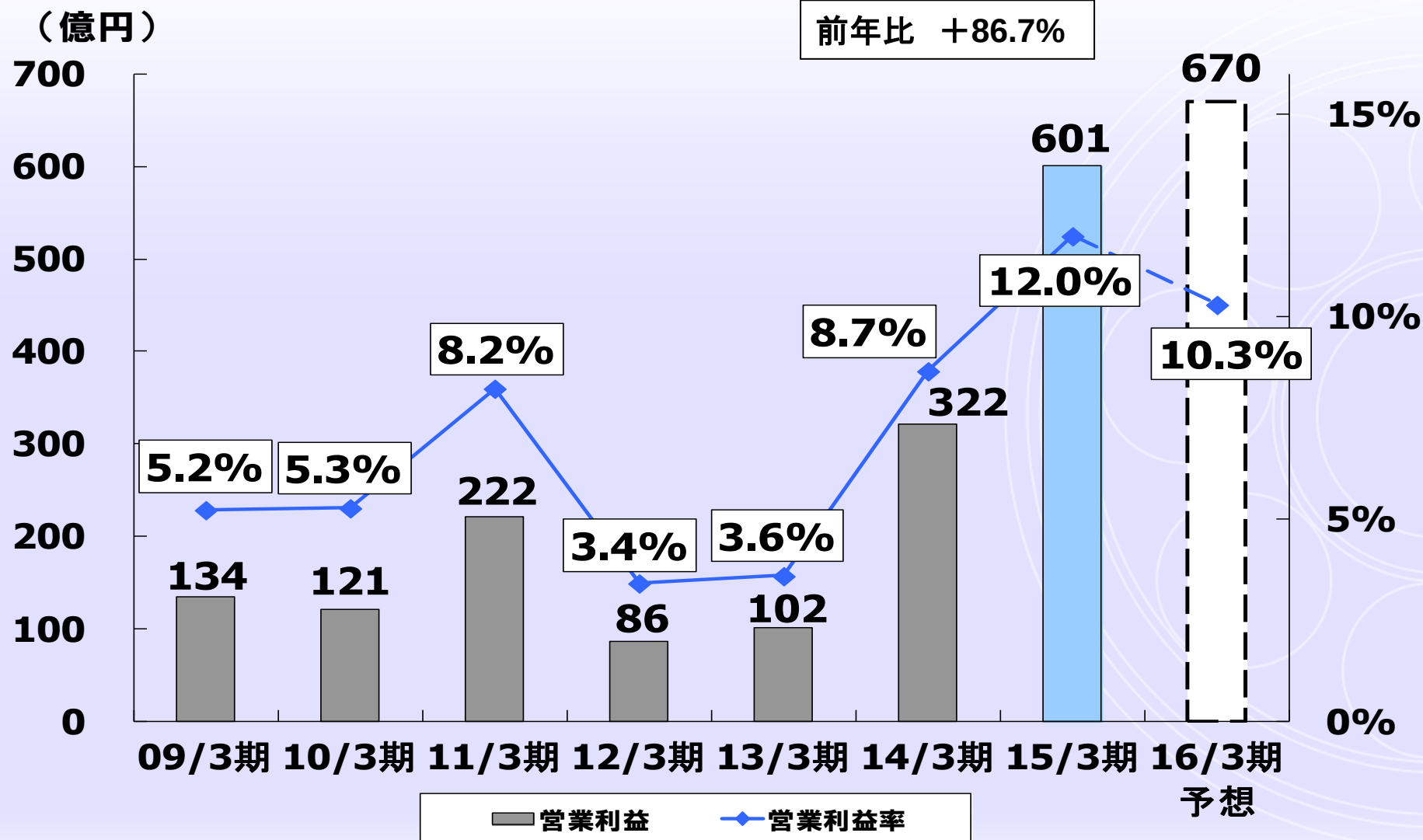
(百万円)	2014年3月期	2015年3月期		前年同期比	前四半期比
	4Q	3Q	4Q	伸び率	伸び率
売上高	93,608	145,403	138,715	+48.2%	-4.6%
営業利益	8,883	19,080	16,259	+83.0%	-14.8%
経常利益	7,943	18,599	16,905	2.1倍	-9.1%
四半期純利益	4,998	13,163	8,906	+78.2%	-32.3%
一株当たり 四半期純利益 (円)	13.38	35.22	23.82	+78.0%	-32.4%

為替レート	14/3期4Q	15/3期3Q	15/3期4Q
US\$	103.40円	112.34円	119.36円
ユーロ	141.41円	141.29円	138.02円
タイバーツ	3.15円	3.45円	3.66円
人民元	16.96円	18.30円	19.11円

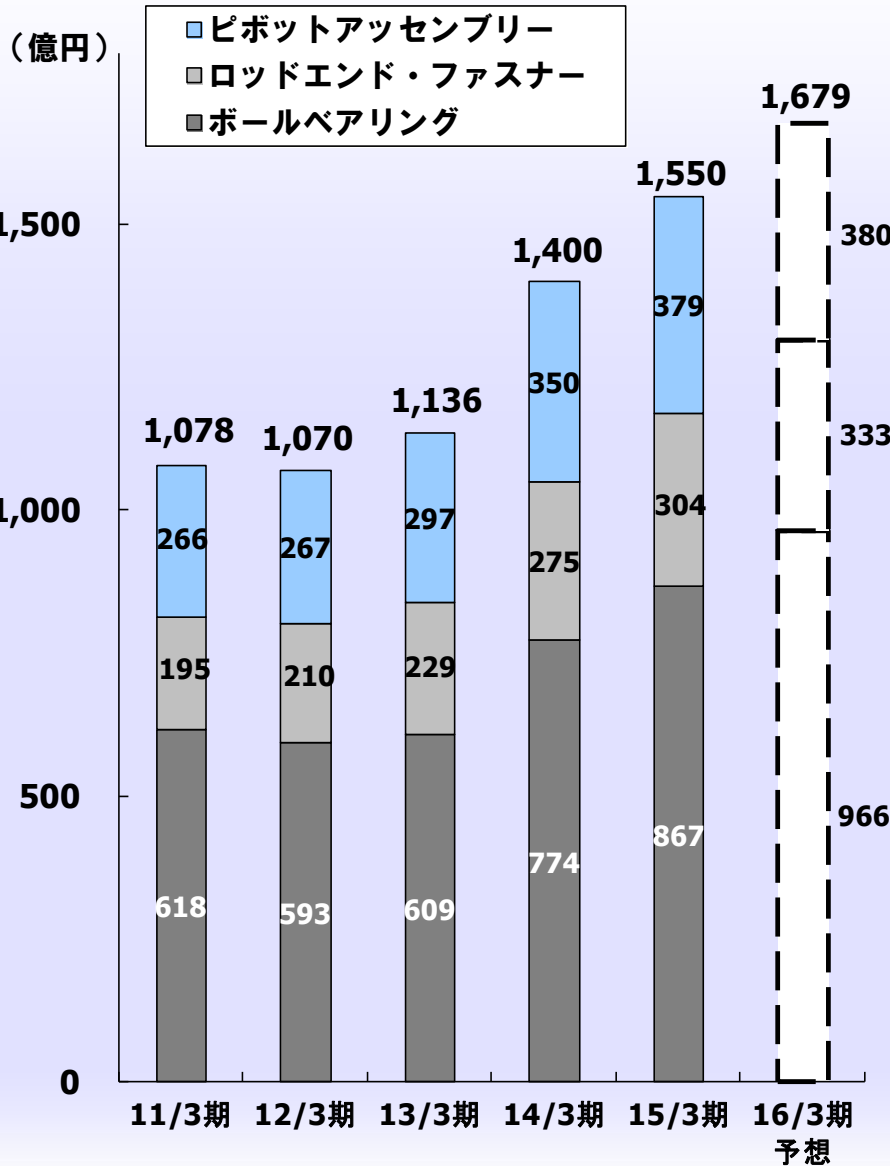
売上高は過去最高を更新



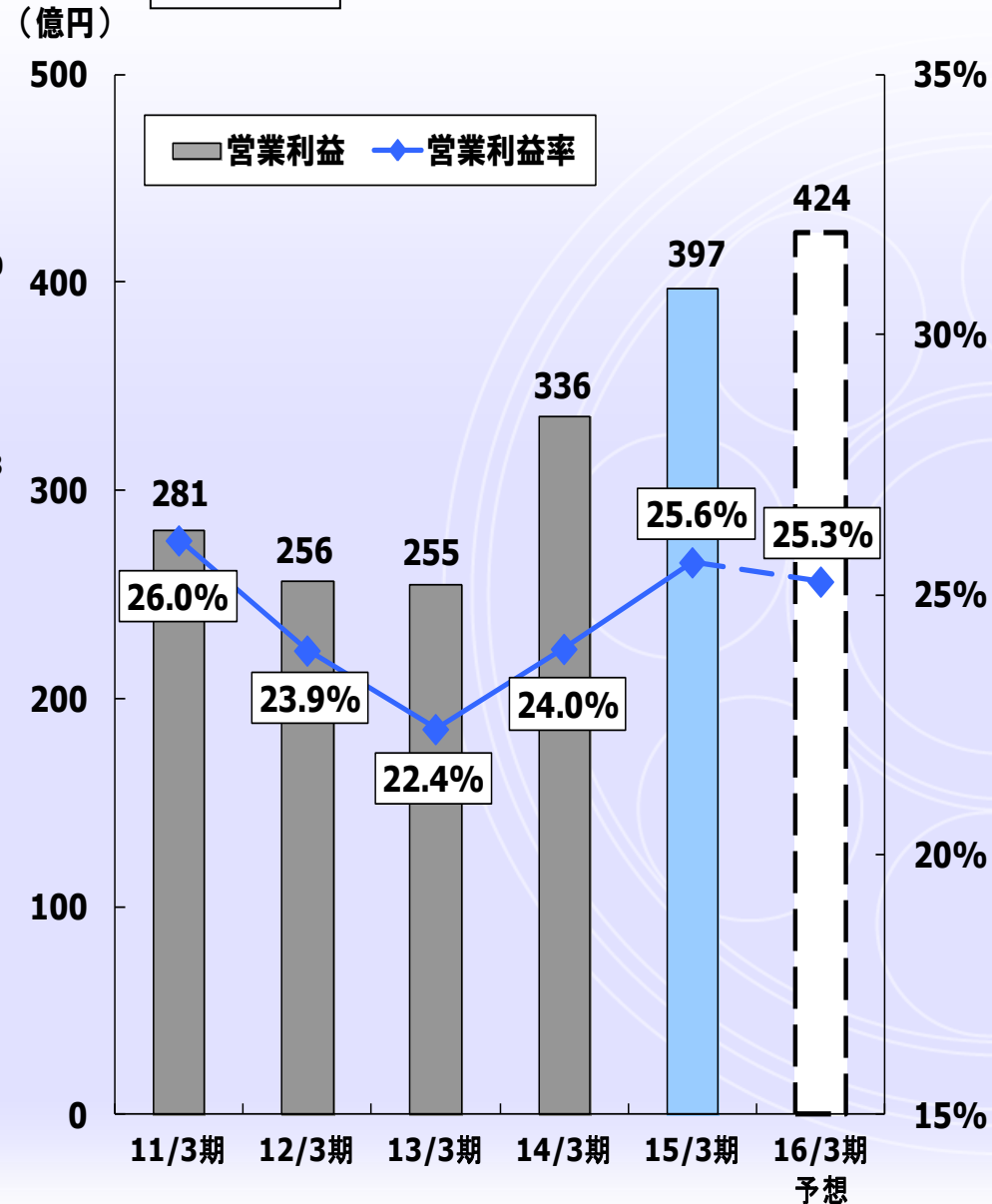
営業利益は過去最高を更新



売上高



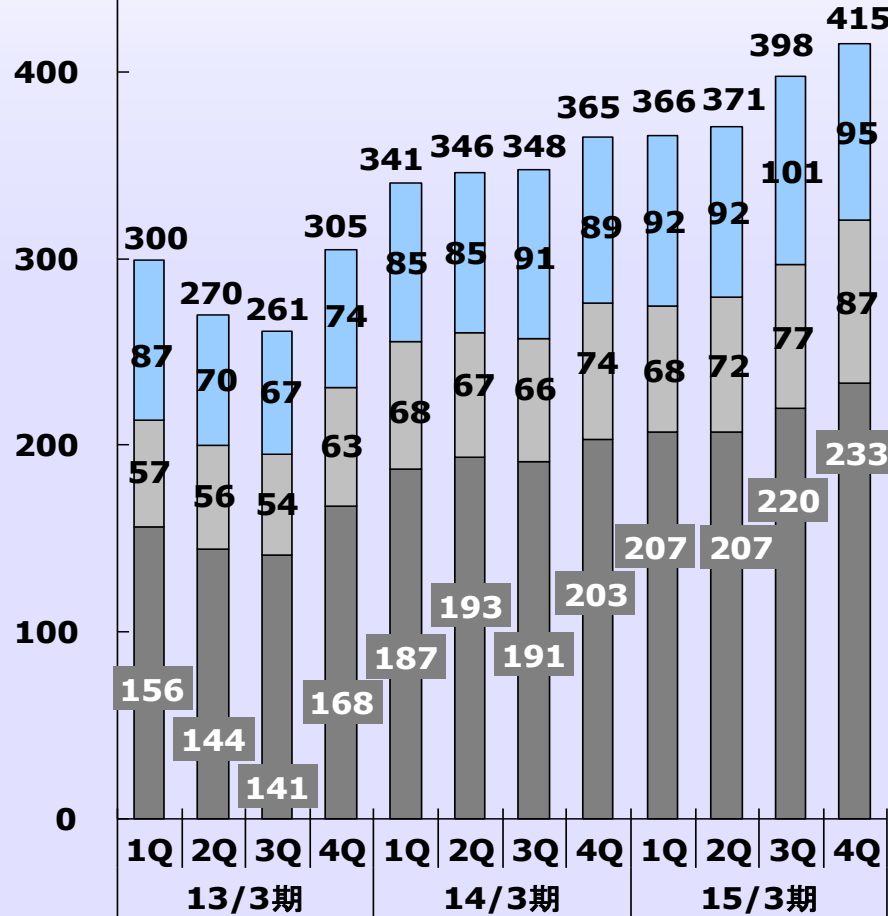
営業利益



売上高

(億円)

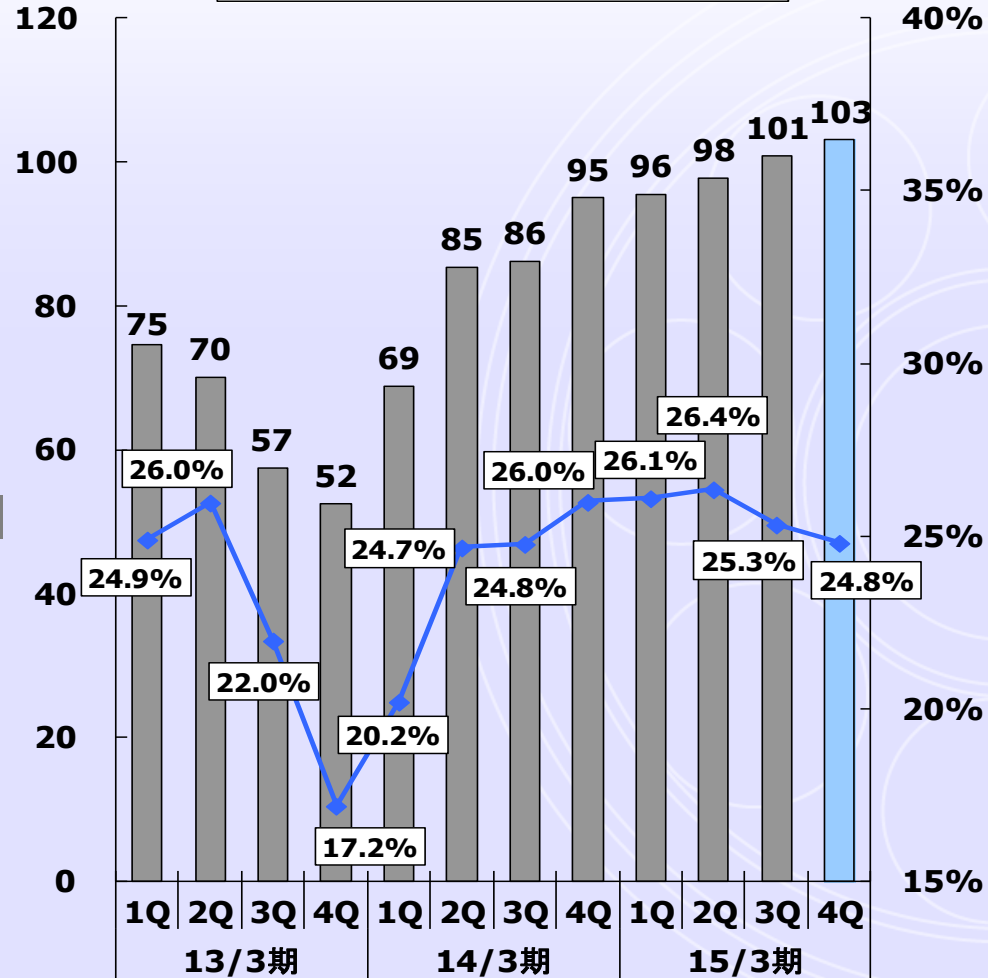
- ピボットアッセンブリー
- ロッドエンド・ファスナー
- ボールベアリング

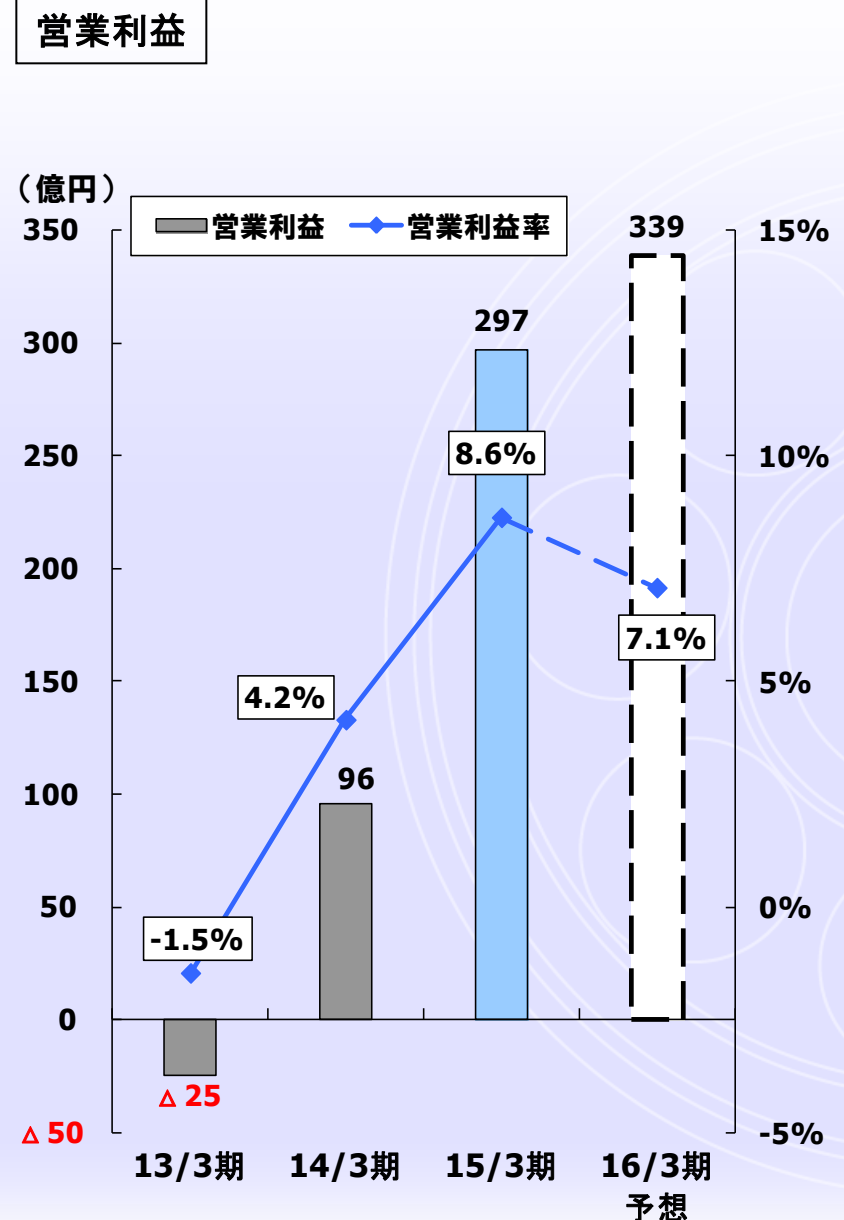
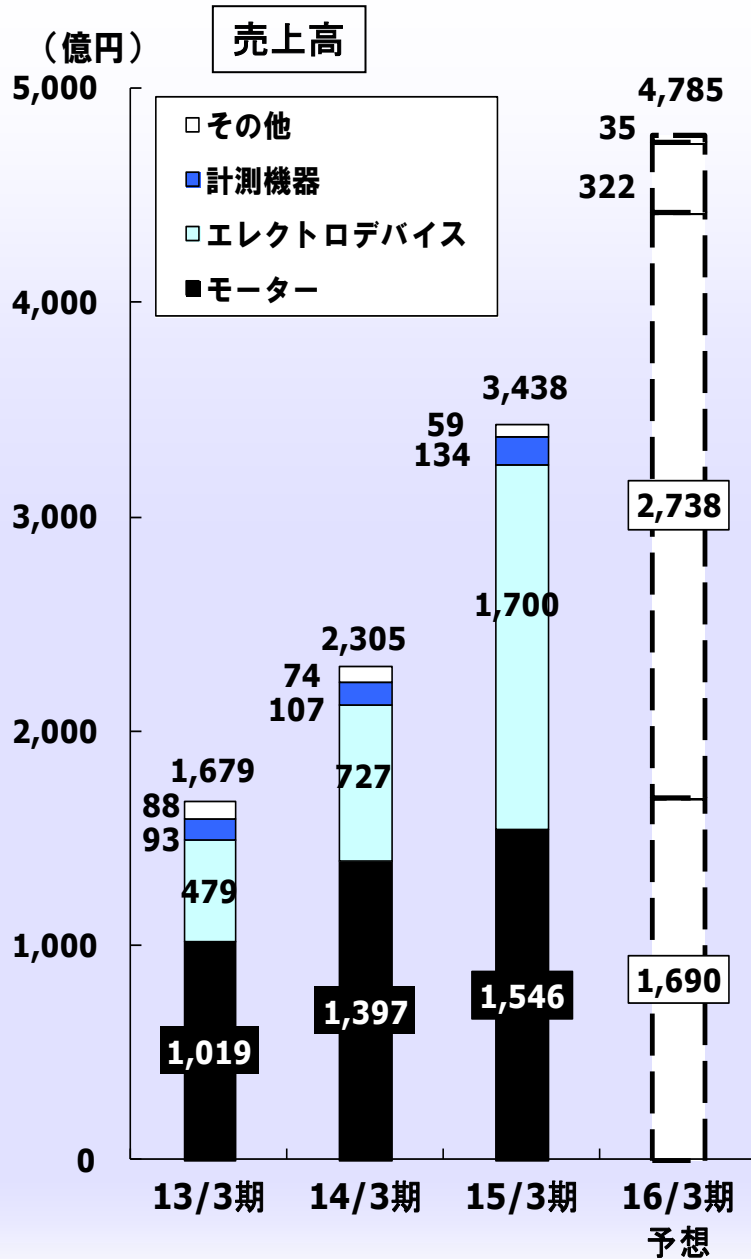


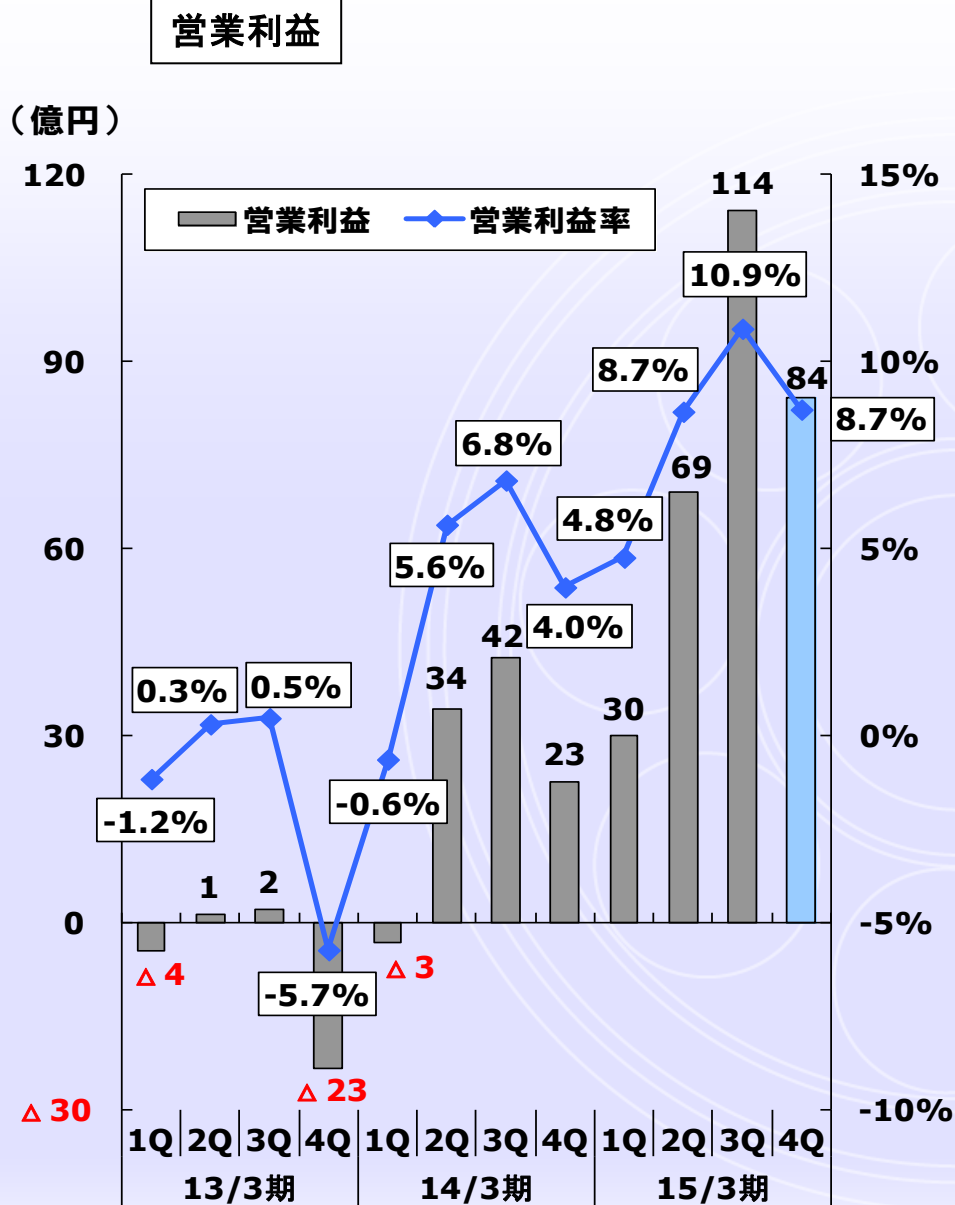
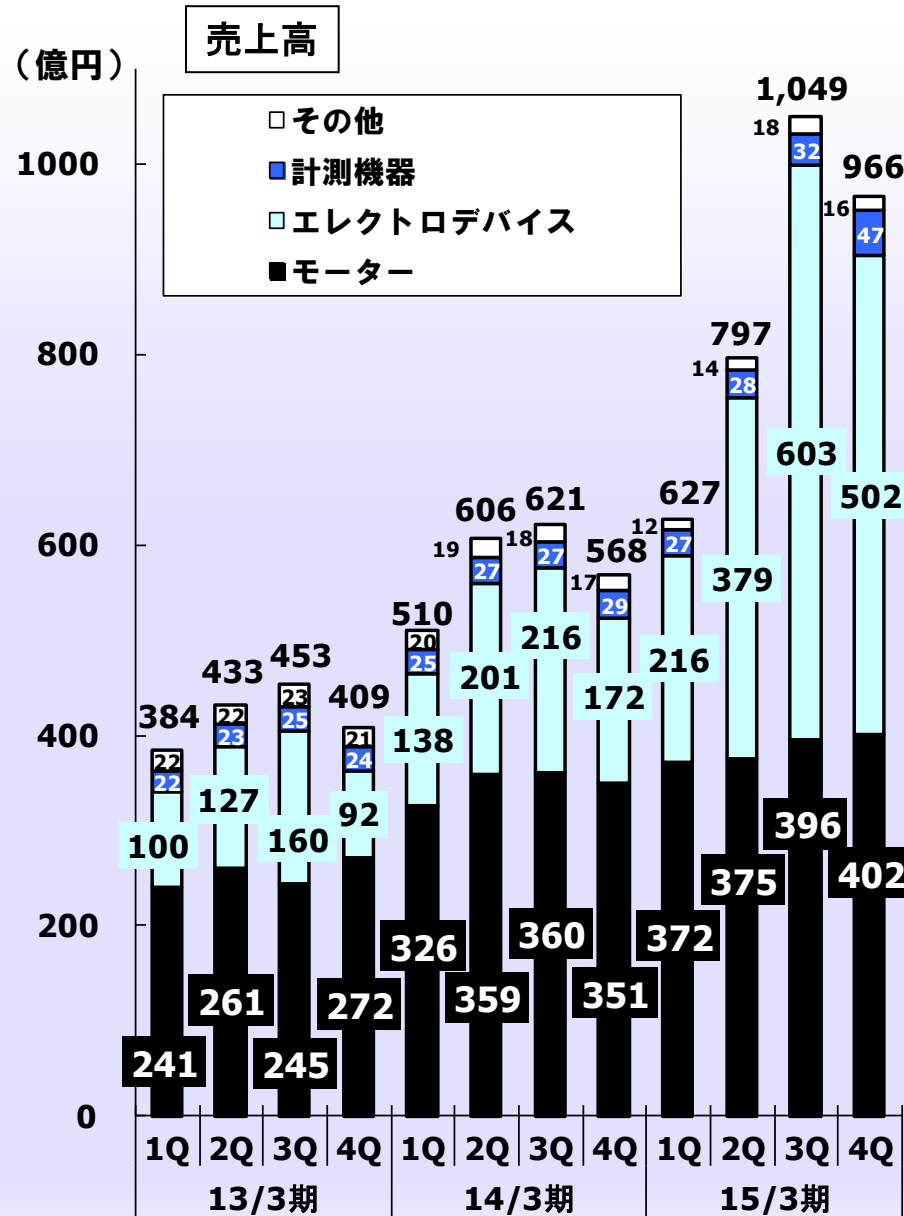
営業利益

(億円)

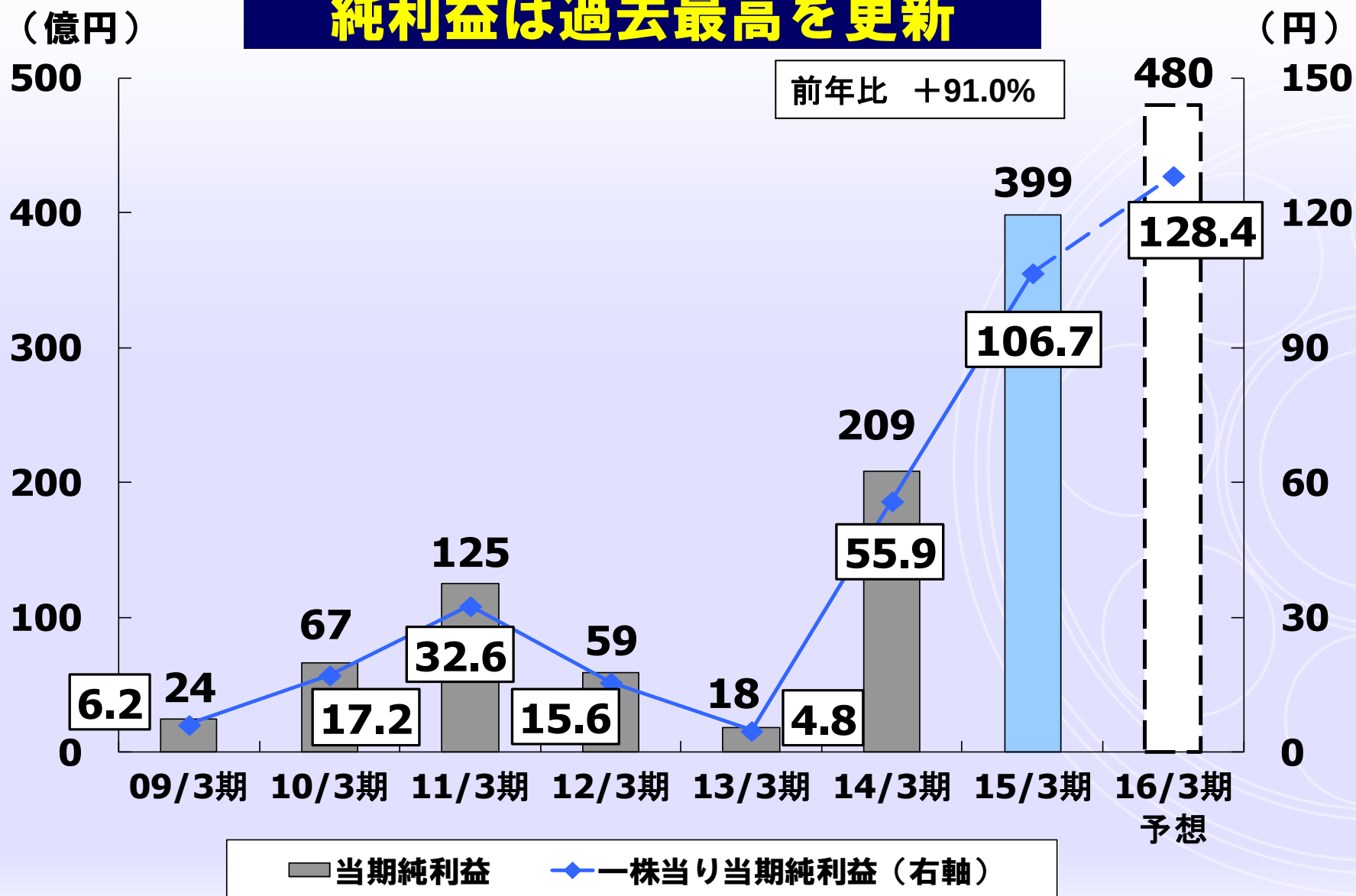
- 営業利益
- ◆営業利益率



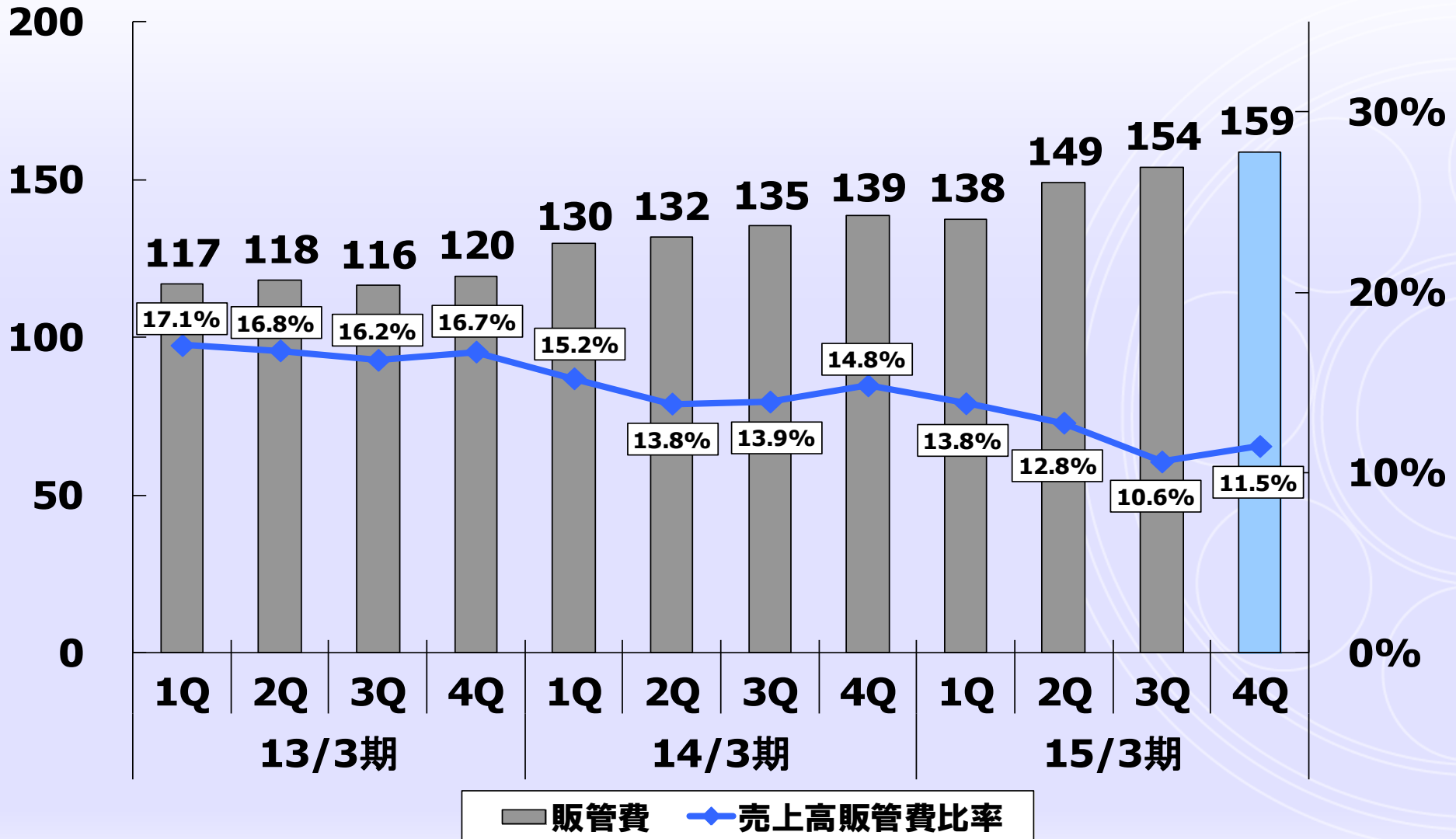


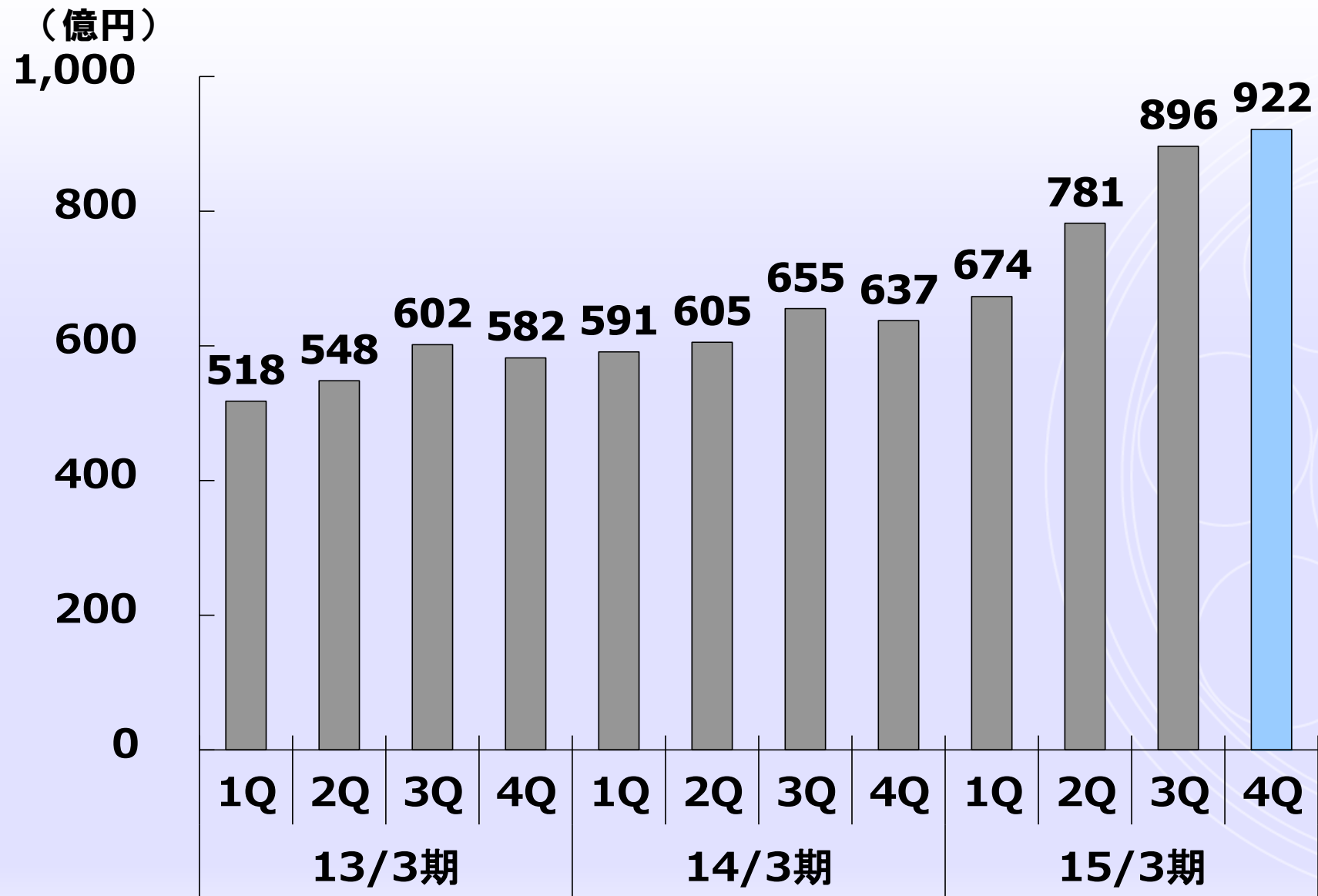


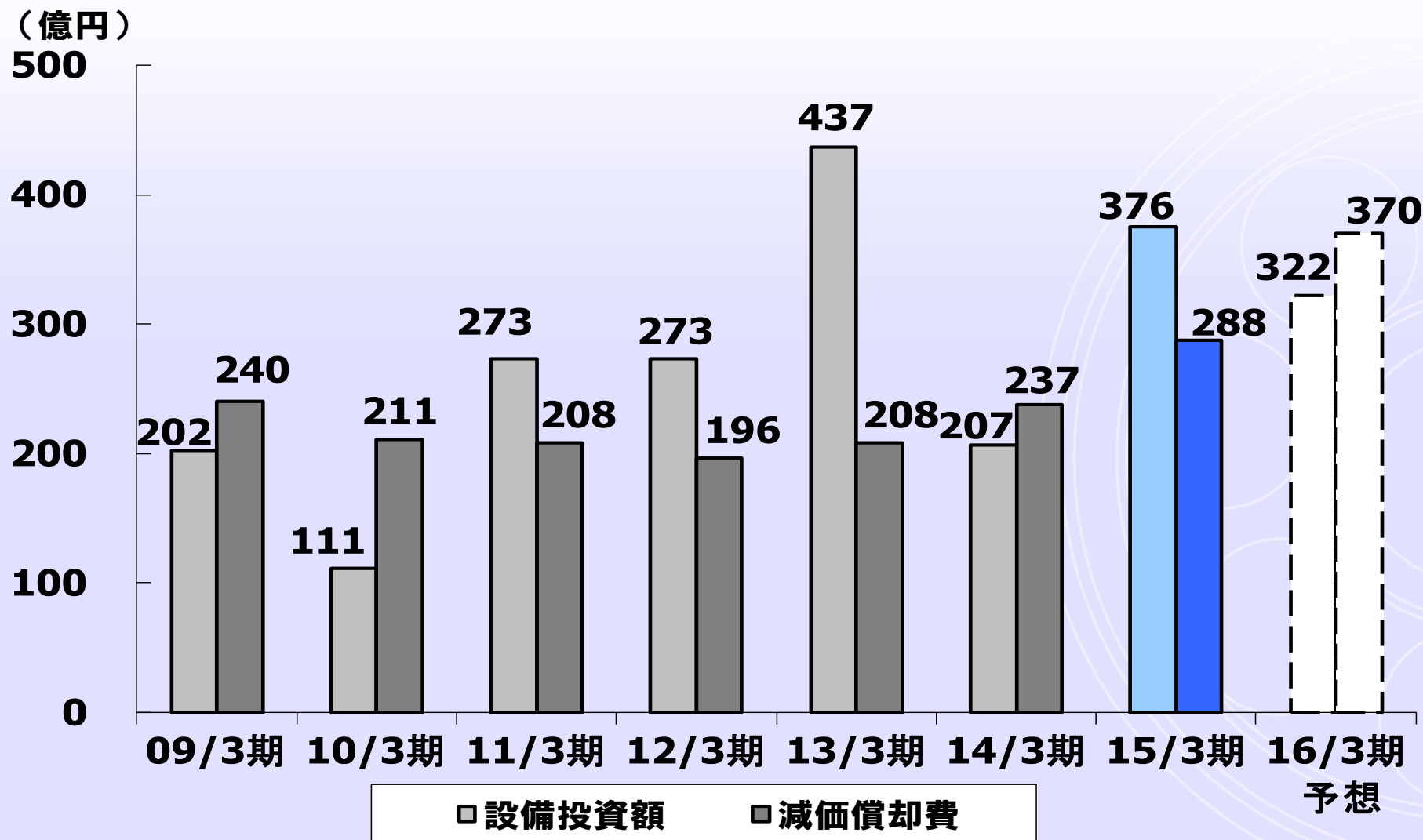
純利益は過去最高を更新



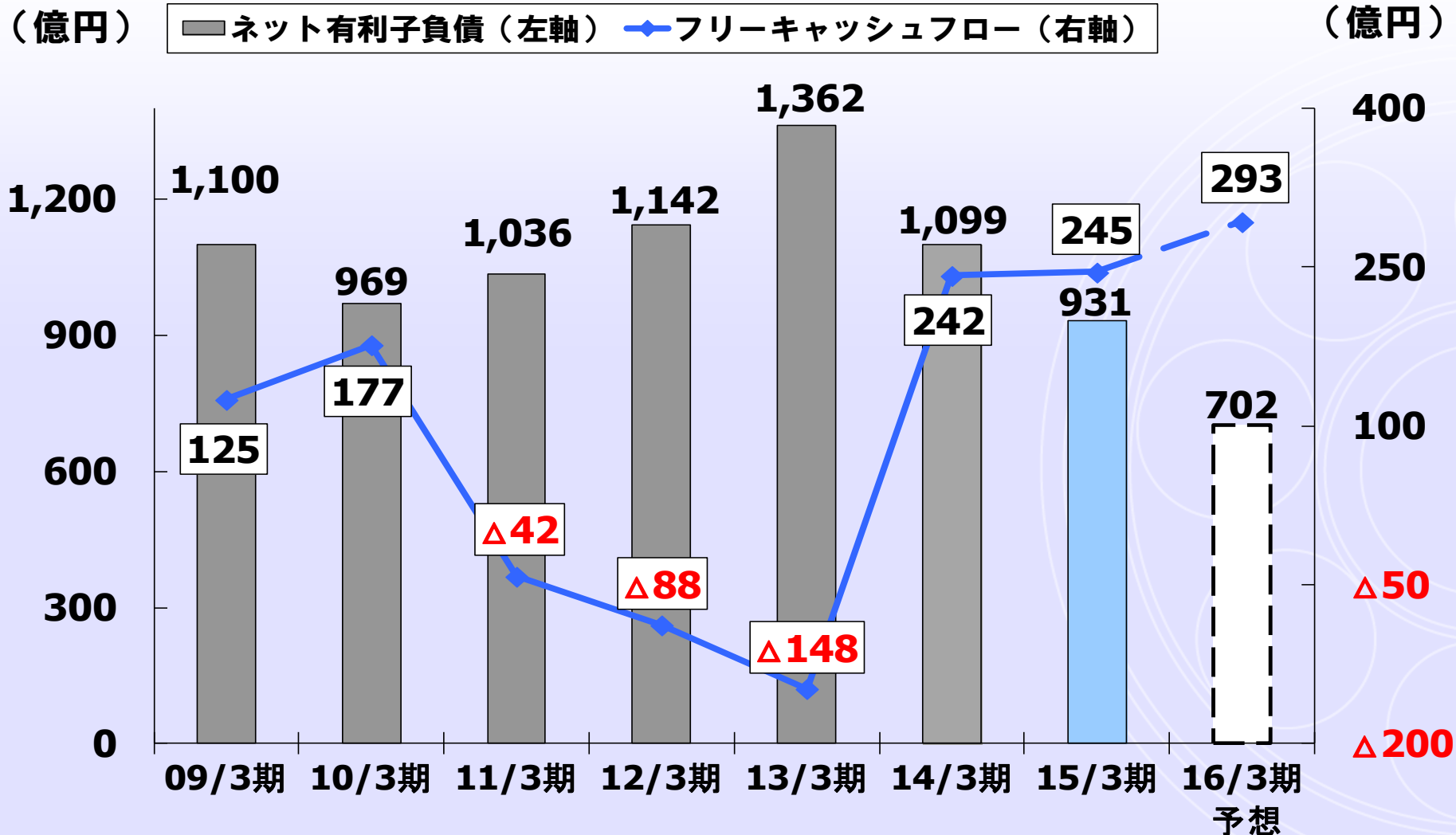
(億円)







フリーキャッシュフロー・ネット有利子負債 年推移



ネット有利子負債 : 有利子負債合計－現預金
フリーキャッシュフロー : 営業活動CF＋投資活動CF

エレクトロデバイス的大幅な売上増加もあり、 4期連続の増収増益を見込む

(百万円)	2015年3月期	2016年3月期予想			前年比 伸び率
	通期	上半期	下半期	通期	
売上高	500,676	294,500	355,500	650,000	+29.8%
営業利益	60,101	28,400	38,600	67,000	+11.5%
経常利益	60,140	27,900	38,100	66,000	+9.7%
純利益	39,887	20,200	27,800	48,000	+20.3%
一株当たり 純利益 (円)	106.73	54.03	74.35	128.38	+20.3%

為替レート	15/3期	16/3期想定
US\$	109.19円	118.00円
ユーロ	139.38円	130.00円
タイバーツ	3.37円	3.60円
人民元	17.60円	19.30円

(百万円)	2015年3月期	2016年3月期予想			
	通期	上半期	下半期	通期	前年比 伸び率
売上高	500,676	294,500	355,500	650,000	+29.8%
機械加工品	154,986	82,900	85,000	167,900	+8.3%
電子機器	343,842	209,800	268,700	478,500	+39.2%
その他	1,848	1,800	1,800	3,600	+94.8%
営業利益	60,101	28,400	38,600	67,000	+11.5%
機械加工品	39,713	21,200	21,200	42,400	+6.8%
電子機器	29,720	12,000	21,900	33,900	+14.1%
その他	859	600	900	1,500	+74.6%
調整額	△10,191	△5,400	△5,400	△10,800	+6.0%

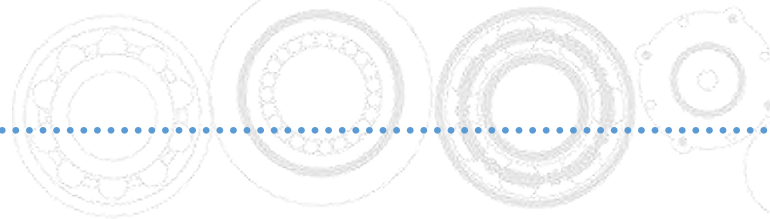


経営方針と事業戦略について

2015年5月8日

代表取締役 社長執行役員

貝沼 由久



- **2015年3月期 実績**
- 中長期の新たな目標
- 中期事業計画
- 2016年3月期 計画

2015年3月期の業績

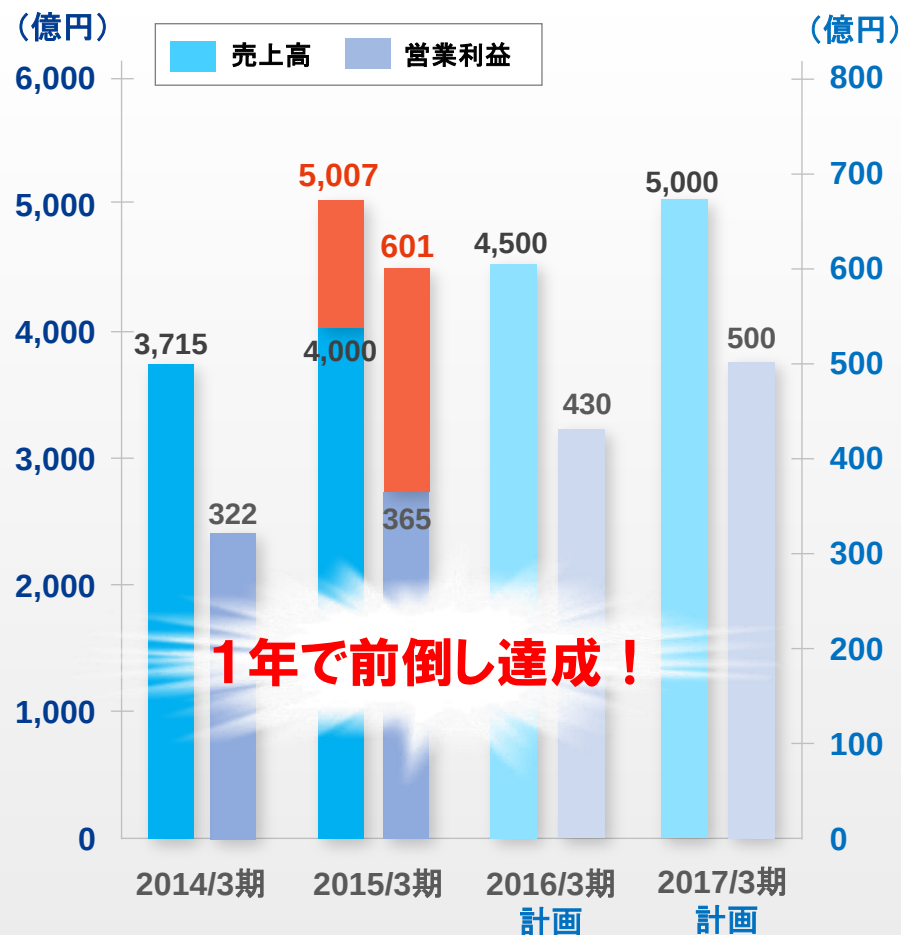
売上5,000億円、営業利益600億円達成！

**過去最高の
売上、営業利益、
経常利益、純利益を達成！**

**昨年5月発表の
中計目標値を
1年で達成！**

**8回連続で四半期計画を
上回る業績を達成！**

中期事業計画業績目標
(2014年5月9日公表)



2015年3月期の急成長の背景

ボールベアリングを
はじめとする機械加工品の
堅調な需要増加

- ・ 月平均 外部販売数量は前年度比6%増加
137百万個/月(14/3期)⇒145百万個/月(15/3期)

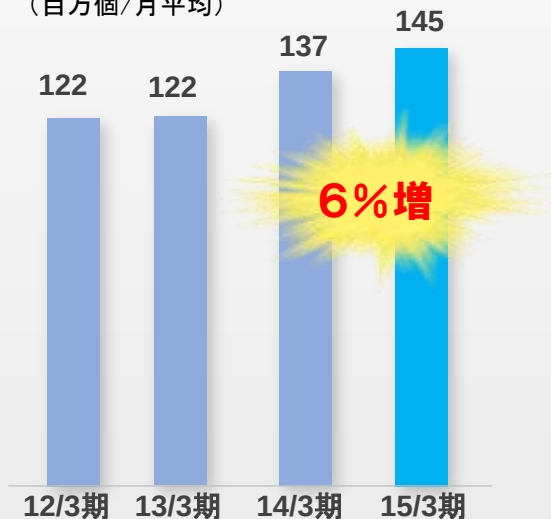
LEDバックライトの
想定以上の伸長

- ・ 大手顧客向けシェア拡大＋中国メーカーを中心に顧客層拡大
- ・ 生産能力の拡大
月産25百万個(14/3期末)⇒35百万個(15/3期末)

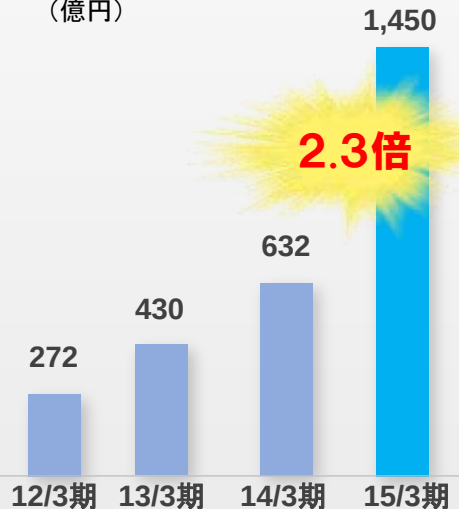
LEDバックライト以外の
電子機器製品の収益性改善

- ・ 自動車、OA機器、家電向けを中心とした売上増と
継続的なコスト削減

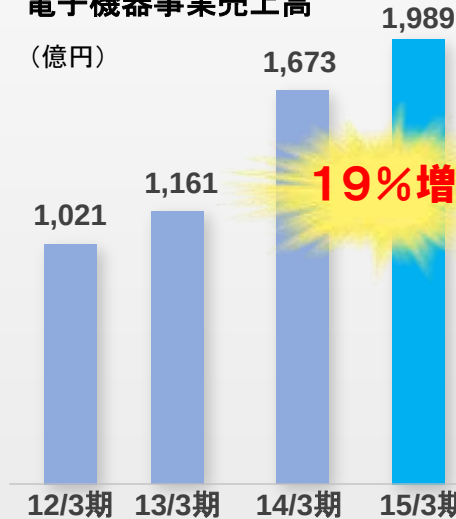
ボールベアリング月平均外販数量
(百万個/月平均)



LEDバックライト事業売上高
(億円)



LEDバックライト以外の
電子機器事業売上高
(億円)



「5本の矢」100周年戦略の進捗

未来への種まきは着実に進行

ベアリングの外販 月平均1億5千万個

順調に販売拡大が進み、単月ベースで3回達成
16/3期には目標到達へ



複合製品の開発と拡販

計画は上回ったが、更なる拡大へ



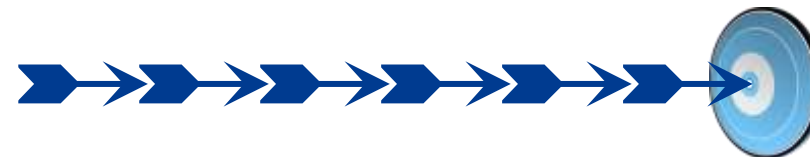
照明器具関連製品の拡販

パナソニック社のワイヤレス通信技術も活用し
製品開発と拡販の種まきが進展



計測機器の売上、200億円

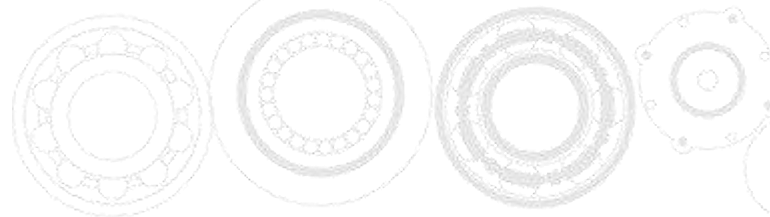
Sartorius Mechatronics T&H GmbH買収で達成、
シナジー追及と新製品の開発・拡販に注力へ



航空機部品事業の売上、収益拡大

組織変更による連携強化で拡販を進め
セロベア社買収によるシナジーでのセラミック製新製品開発にも注力中





- 2015年3月期 実績
- 中長期の新たな目標
- 中期事業計画
- 2016年3月期 計画

1兆円 and/or 1,000億円への新たなチャレンジ **Minebea**
Passion to Exceed Precision

1 and/or 100 by 2020

Minebea will change to grow!! "C to G Project"

大型M&Aの実施！

by **2020**

**無線活用製品を含む
新製品群との
三本柱完成**

by **2017**
**二本柱を
更に大きく**

by **2014**
二本柱の完成

前中期事業計画

前倒し達成
電子機器事業を第二の柱へ

中期目標

各事業のさらなる飛躍と
新製品の投入

中長期的目標

**売上1兆円 and/or
営業利益1,000億円**

縦と横の総合力:シナジーを最大限に発揮

既存マーケットの徹底的な掘り起こしと
当社製品の拡販に結び付く組立事業の拡大

新(複合)製品を積極的に開発・販売



大規模 M & A

ミネベアの更なる成長を支える新製品群

Minebea
Passion to Exceed Precision



材料



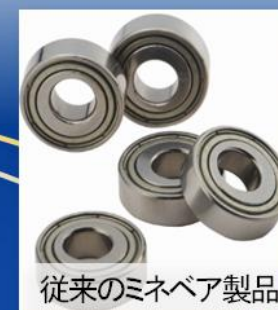
超精密部品加工



解析・測定



大量生産技術



従来のミネベア製品



最適品の最適地生産

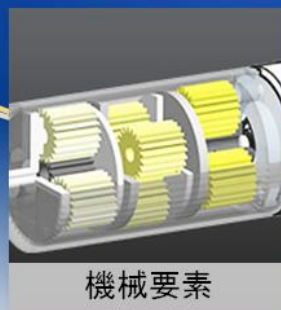
ミネベアの要素技術とアッセンブリー技術を
融合させた新製品の商品化を加速



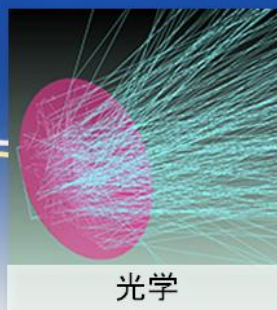
パワーエレクトロニクス



センサー



機械要素



光学

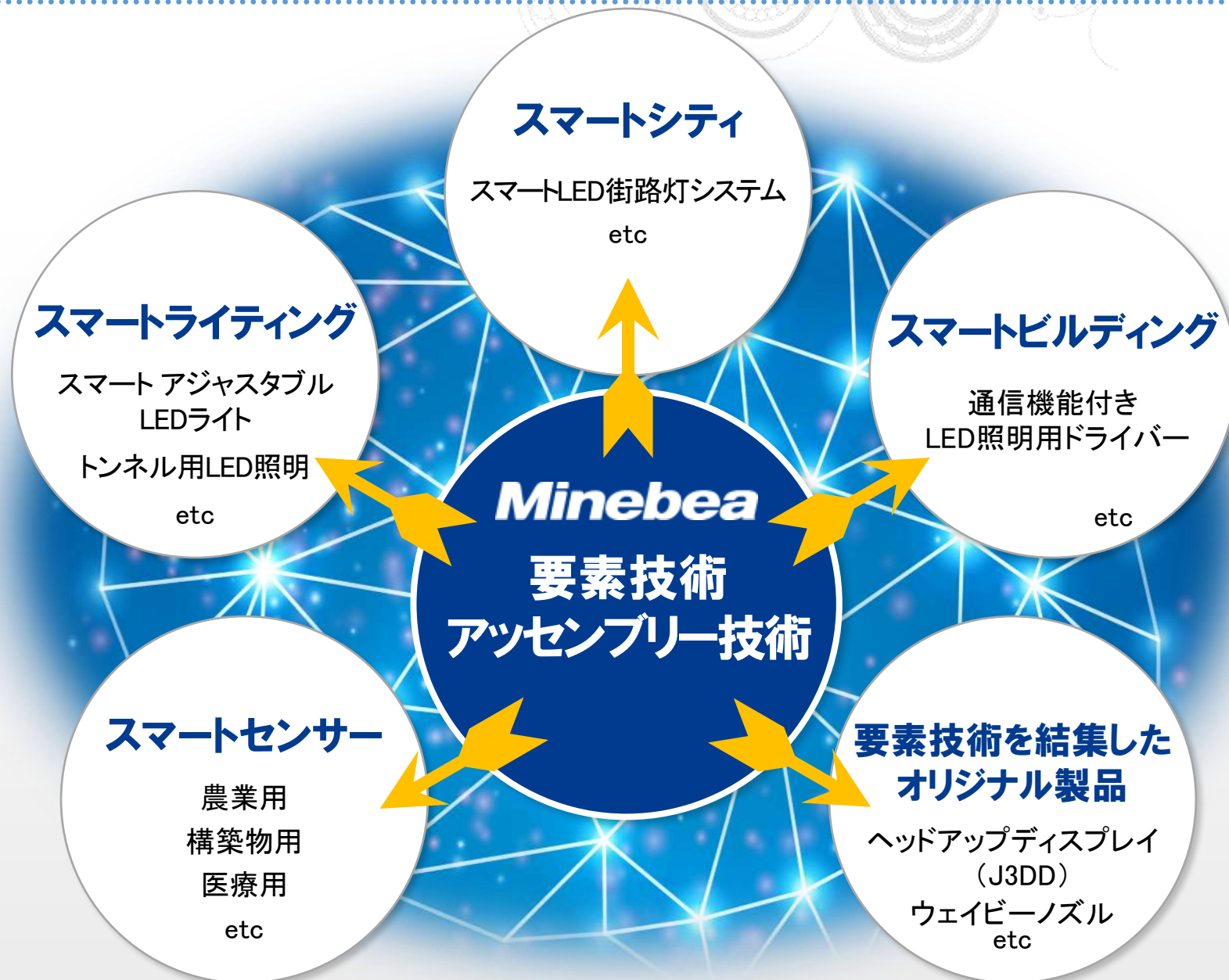


トライボロジー(潤滑)



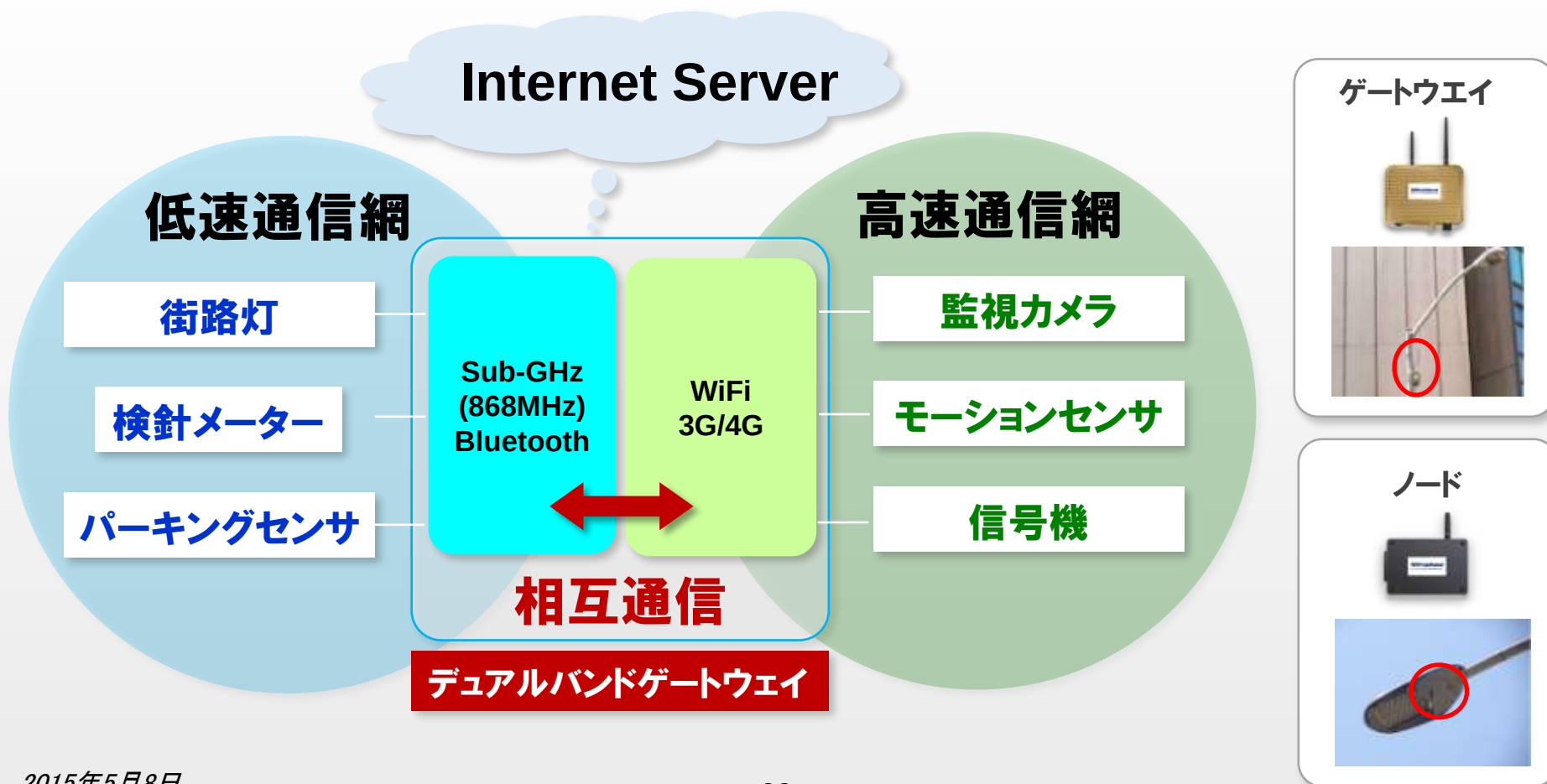
ネットワーク

「新製品5本の矢」戦略



ミネベアの無線ネットワークシステムの特徴

- 高速と低速のネットワークを相互に接続し一体的に運用が可能。
- 用途に適した通信網にて機器を接続することにより通信網の最適化が可能。
- 高速と低速のネットワークの一体運用により用途を選ばず拡張性の高いネットワークの構築が可能。

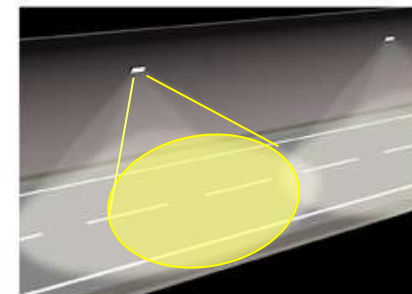


カンボジア プノンペン市 スマートシティ構想



① 屋外LED照明(トンネル用)

- ・ 精密加工技術と光学技術を駆使した薄型プラスチックレンズを開発
- ・ 照明間隔が長く照明台数の削減が可能のため、CO₂排出量削減に貢献
- ・ 光のギラつきを抑制し、ドライバーの安全性に配慮



ミネベア製新型レンズ使用時のイメージ図

② スマートシティLED街路灯

- ・ Paradox社無線技術を用いたミネベア製高効率LED街路照明を開発
- ・ 温室効果ガス削減を目的としたJCMプロジェクトの一環として、経済産業省より委託実施
- ・ カンボジアでの実現可能性調査を完了
 - CO₂排出量を66%削減可能(ミネベア製高効率LED街路照明を9千基導入した場合の推定)

③ スマート アジャスタブル LEDライト(SALL)

- ・ 無線制御機能付きアジャスタブルLEDライトを開発
- ・ 光学、回路、メカニカル、モーター、無線技術の融合
- ・ Bluetooth Mesh 無線制御システムにより、スマホを使った広範囲での同期稼動が可能
- ・ ターゲット市場: ホテル、展示イベント会場、商業店舗などのスマート・ビルディング用途

④ ボルト締結力監視センサー

- ・ボルトとナットの締結力を計測・監視するセンサーを開発
- ・長岡技術科学大学/宮下准教授と、社会インフラの監視・管理への活用に向けて評価中
- ・締結力が設定値よりも低下・増加した場合、目視による異常を察知可能
- ・今後は、作業者の立入りが困難な環境での監視・点検に向けて、無線ネットワーク技術も活用していく

⑤ スマート農業用センサー

- ・農作物の栽培段階での重量等を計量、指標明確化することにより農業のIT化促進に向けて評価中
- ・ロードセル、センサー等の無線データ伝送による計量が可能
- ・器具の無線化により計量物への取付け・取外し作業を軽減

指標の明確化

重量変化と生育特性の把握
(生育管理)

生育に応じた適切な作業
(匠の伝承)



スマート農業用センサー

⑥ ウェイビーノズル

- ・設備内製技術を生かし、工作機械向け補助装置を開発・販売

不良率低減

3つの可動式ノズル動作モードにより
切削油を噴射し、金属切り屑による
加工不良発生を低減

工数削減

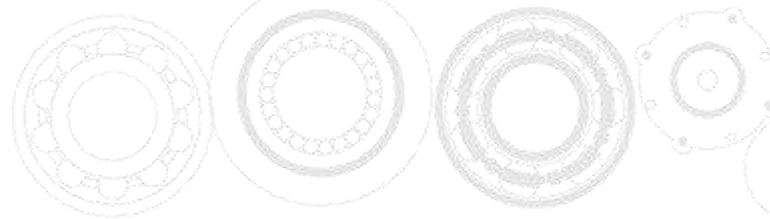
手作業での噴射口調整が不要となり、
金属切り屑の絡み付きによる切削工
具の破損防止、寿命延長

複合技術

ミネベアの広範な製品群の活用により、
部品の8割を社内調達

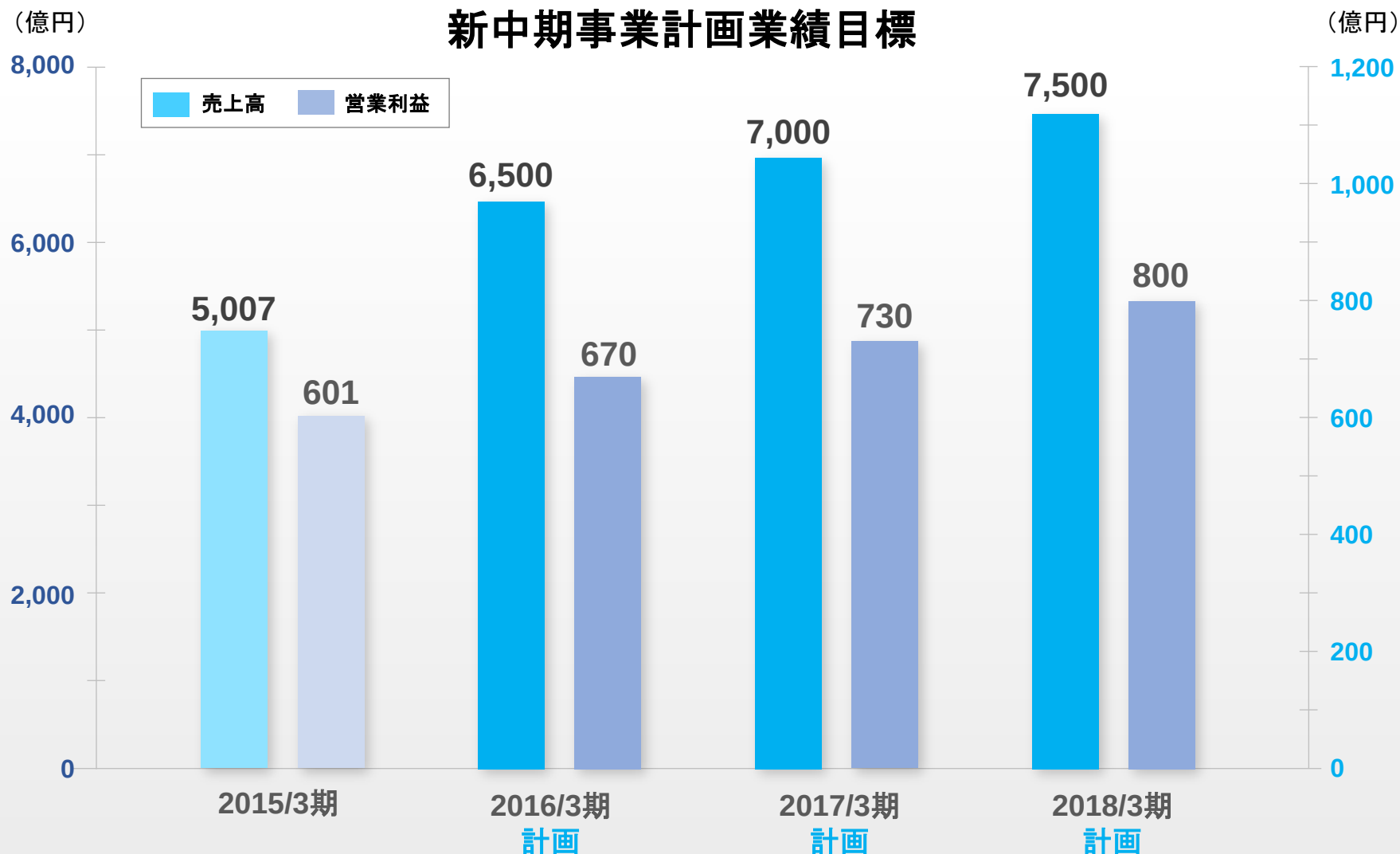


ウェイビーノズル



- 2015年3月期 実績
- 中長期の新たな目標
- 中期事業計画
- 2016年3月期 計画

2020年に向けた通過点としての新中期事業計画を策定



機械 加工品 事業

世界経済の安定成長と需要の徹底的な掘り起こし

- ・2015年世界経済成長率予測3.5%(IMF)、中間所得層の拡大
- ・既存市場における需要の徹底的な掘り起こし
- ・顧客とのタイアップによる新用途の開発
- ・低価格量産品ボールベアリング市場におけるプレゼンス拡大
- ・航空機産業でのプレゼンス拡大

**着実な
利益成長**

電子 機器 事業

LED バックライト

生産能力拡大による収益拡大

- ・スマホ市場において圧倒的なプレゼンス確立へ
- ・さらなる生産性改善による収益力向上

**大幅な
増収増益**

その他 製品

- ・モーターにおけるさらなる収益改善
- ・計測機器における新アプリケーションの強化
- ・複合製品の商品化を加速
- ・製品拡販につながる組立事業の拡大

LEDバックライトが第2の柱になりつつある

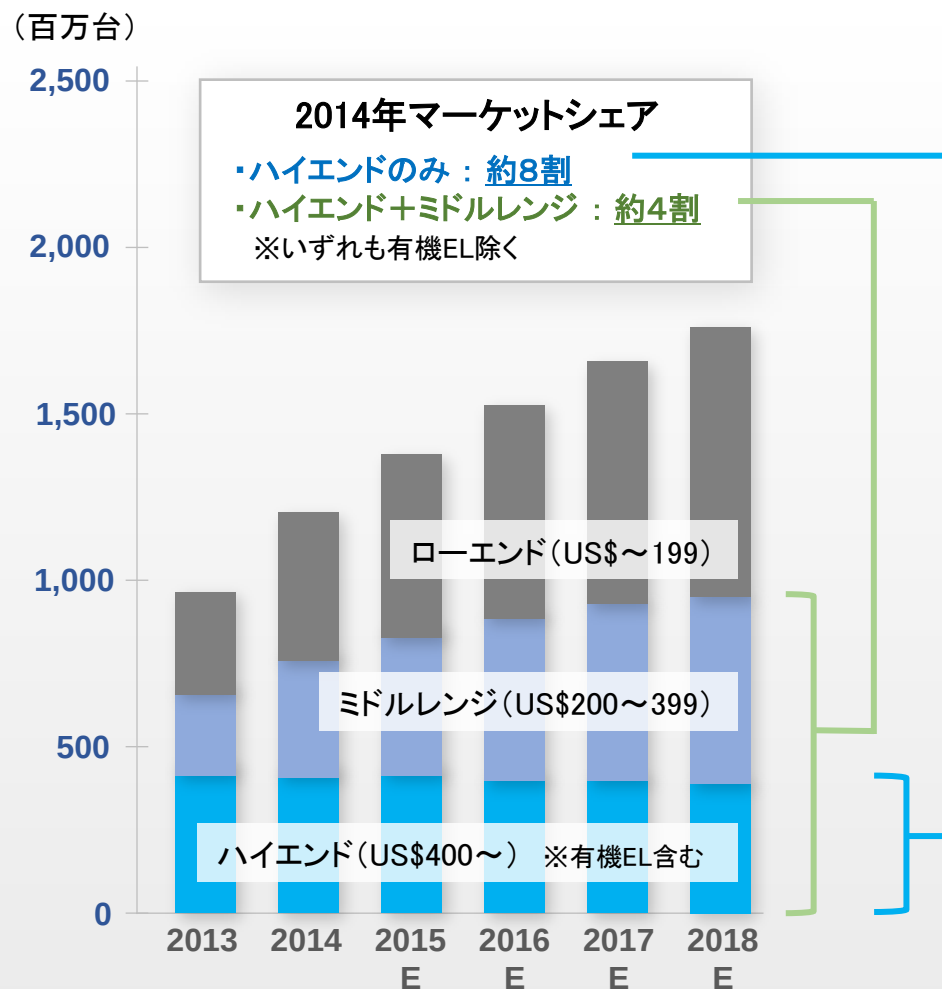
スマホ市場は成長が続く

ミネベアの超薄型LEDバックライトの採用が、\$400以下のスマホにおいても進行中。

圧倒的な競争力

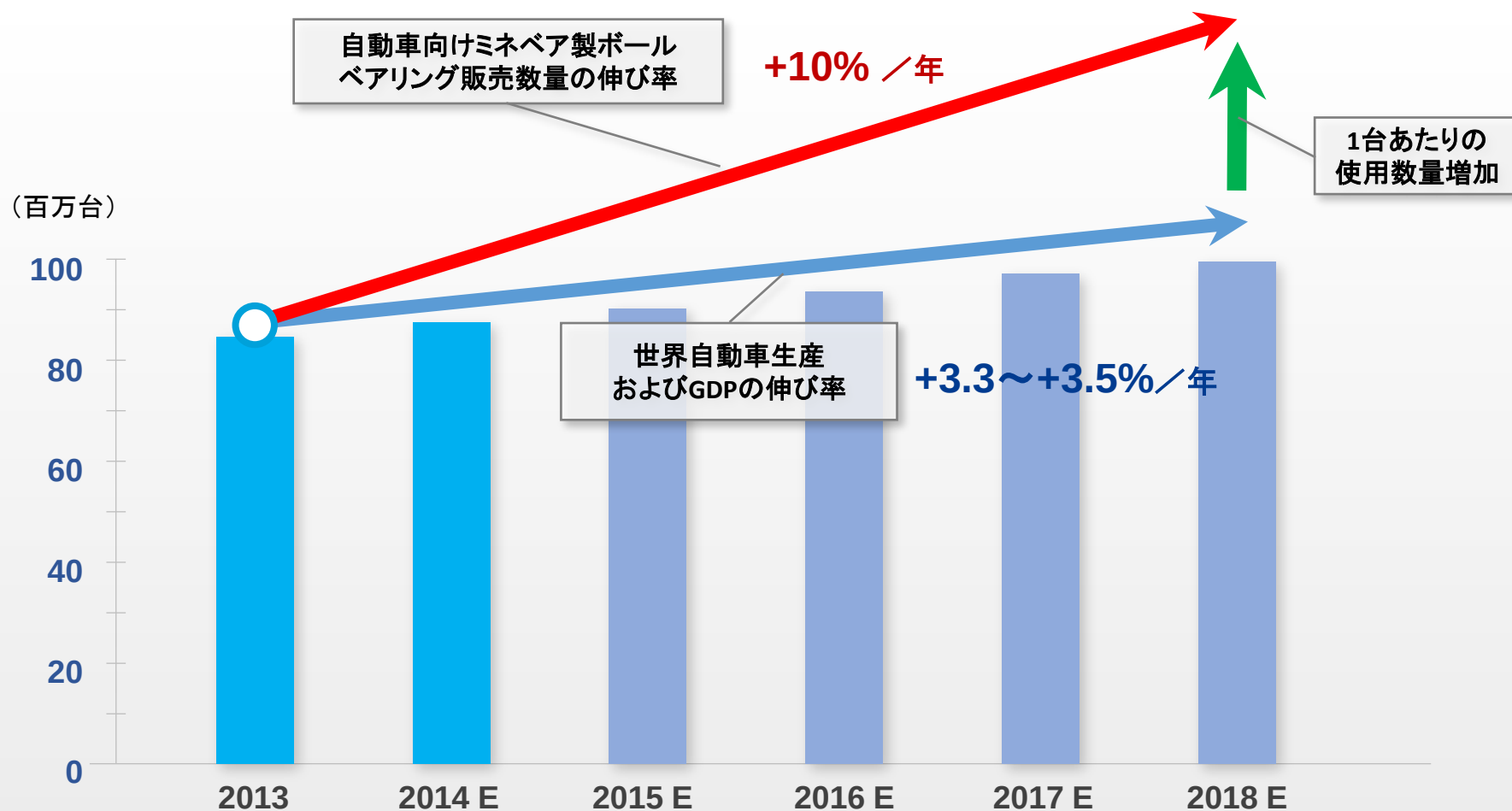
- ① 超薄型・高機能LEDバックライトでシェア拡大中。
- ② 設計技術、生産能力と製造コストで圧倒的な優位性を確立しつつあり、ボールベアリングやピボットと似たようなビジネスモデルへ。

スマートフォン価格帯別 世界出荷数量

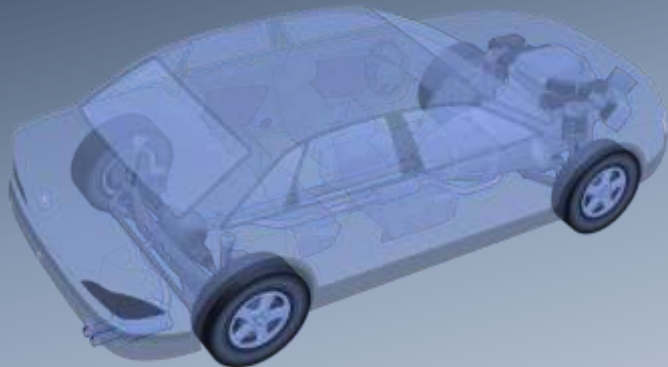


ダウンサイジング、省エネ化のトレンドはミネベアに追い風

世界自動車生産とミネベア製ボールベアリングの伸び



新機能向けに伸びるミネベア製ボールベアリングとモーター



ある欧州系高級車モデルにおけるミネベア製部品使用例

1台あたりミネベア・サイズのボールベアリング使用数量			42
ヘッドランプ周りのモーター用	20	EPS	2
シート向けファンモーター用	6	Radiator Fan	2
EGR	3	その他	7
ABS	2		

1台あたりミネベア製ボールベアリング使用数量 **38**

1台あたりミネベア製モーター使用数量 **11**

環境性能

Exhaust Gas Recirculation
Urea-based Selective
Catalytic Reduction
etc.



安全性

Lighting Systems
Antilock Brake System
Electronic Stability Control
etc.



省エネ

Electronic Throttle Valve
Turbo Charger
etc.



快適性

Seat Fan
Rear Gate Opener
etc.



航空機生産は確実に増加する

① 各航空機メーカーの増産に積極対応

従来機種の安定した生産に加え、ボーイング787に続く省エネ型新型機（A350XWB、A320Neo、B737MAX、B777X、MRJ等）の量産が始まる

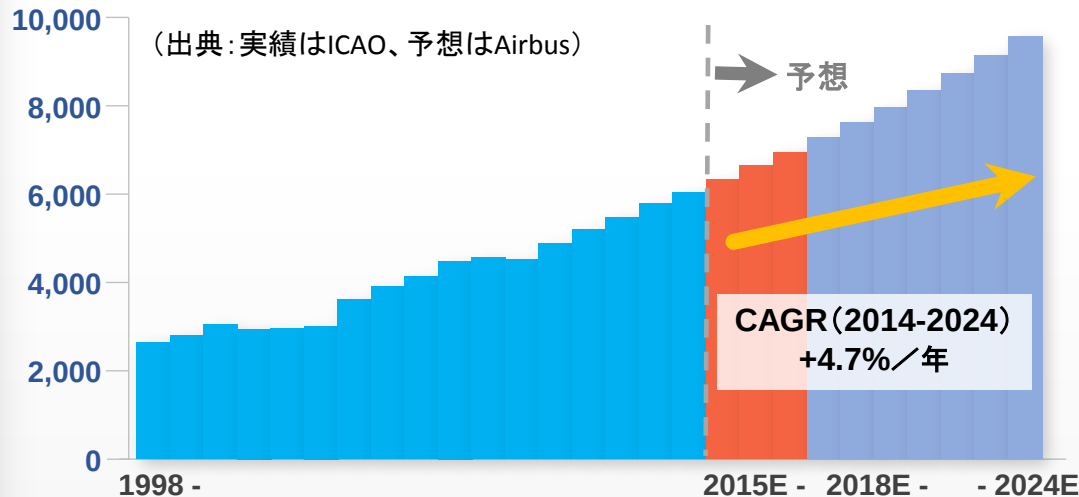
好調な受注を受けて、タイ・ロップリ工場での生産能力を拡張し、日本・米国・英国工場からの製造移管やタイ工場からの部品供給でコスト削減を進める

② 難削材加工を中心に拠点分担を明確化し、事業の効率化と日英米販売連携強化を可能にする組織の構築

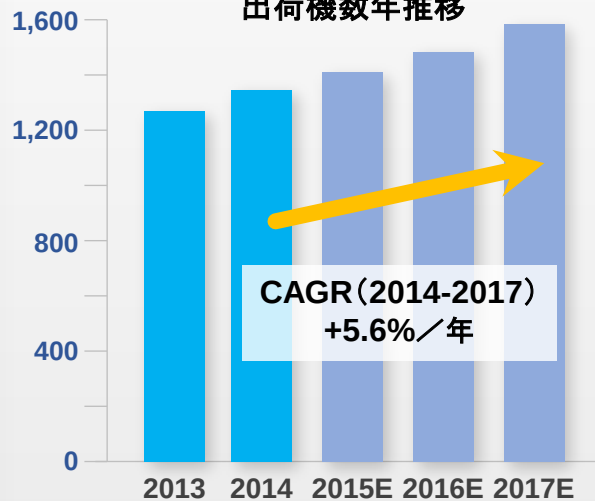
③ セロベア社買収によるシナジーを目指し、セラミック製航空機部品開発にも注力する

(10億旅客キロ数)

総旅客キロ数の年推移



(機) ボーイング・エアバス民間航空機出荷機数年推移



(出典:ボーイング、エアバス、見込みはミネベア)

ビジネスジェット出荷機数予測



(出典:ボンバルディア)

未来への種まきから成長の次なるステージへ

ベアリングの外販 月平均1億8千万個(新工場建設のための布石)

市場の徹底的な掘り起こしと新用途の開発

複合製品の開発と拡販

複雑化、高難度化する複合製品に向けた技術力と販路の確立

照明器具関連製品の拡販

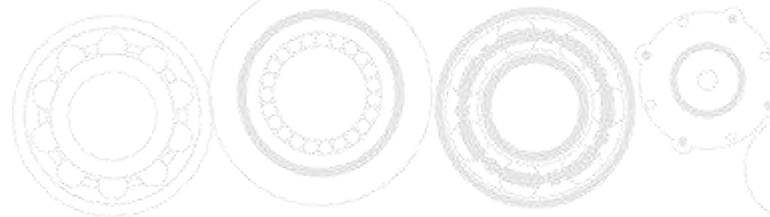
光学技術、精密加工技術、ワイヤレス通信技術等を融合し
ライティングデバイス事業の新たな柱の構築へ

計測機器の売上、500億円

Sartorius Mechatronics T&H GmbHとのシナジー最大化、
新製品の開発・拡販に注力

航空機部品事業の売上、700億円

民間航空機向け需要掘り起こしと新型モデルへの対応、
難易度の高いストラクチャルおよびエンジンパーツの取り込み



- 2015年3月期 実績
- 中長期の新たな目標
- 中期事業計画
- 2016年3月期 計画

2016年3月期の計画

① スマホ関連の
一部アッセンブリーを伴う
事業拡大

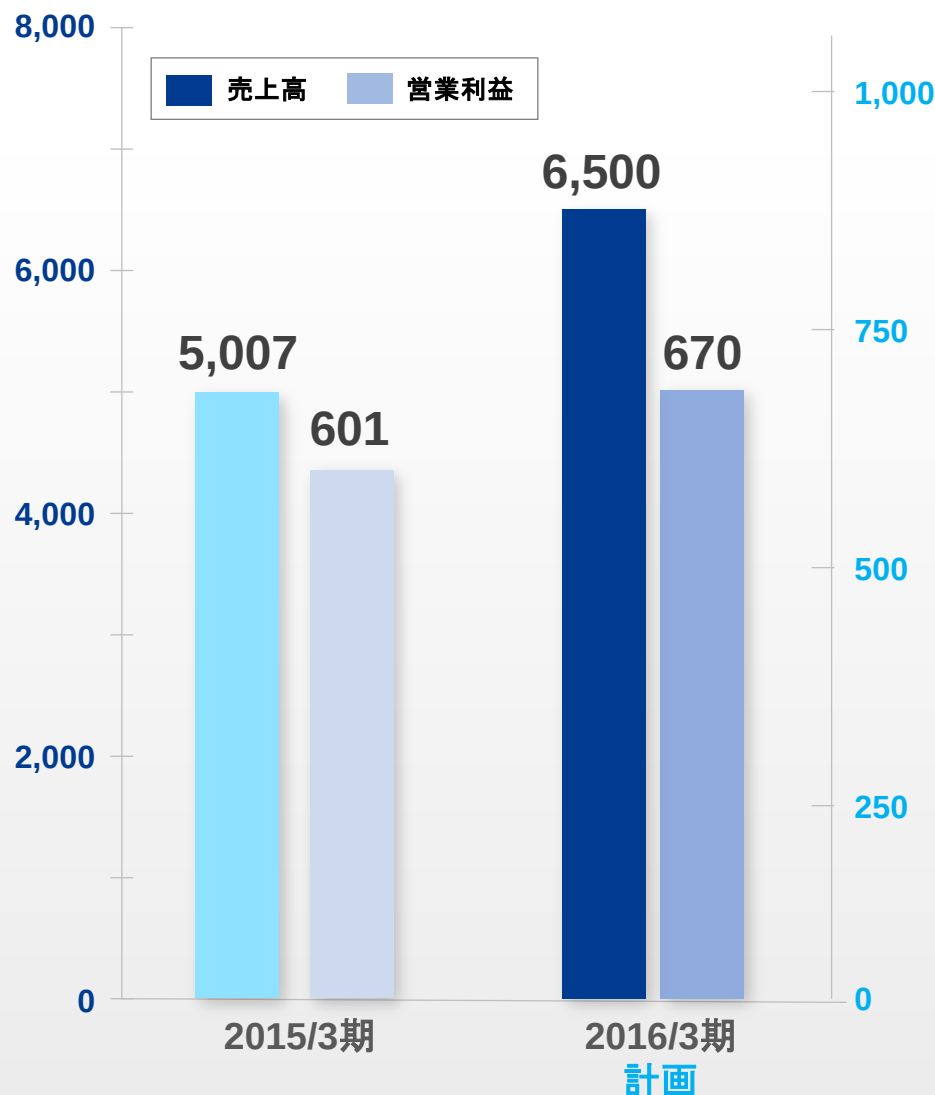
② 既存事業の成長(5%)

③ 各事業の収益改善と
Sartorius Mechatronics T&H
等の買収による上乘せ

④ LEDバックライトの大幅増加

- ・ 月産35百万個(15/3期末)
⇒50百万個(16/3期末)へ
- ・ 中国スマホの薄型化継続と
新規客先参入へ

2016/3期 売上高・営業利益計画 (単位:億円)



1

ベアリングの外販 月平均1億5千万個 体制の確立

2

スマホ関連の一部アッセンブリーを伴う事業拡大

3

LEDバックライトの数量増加
(2と合わせて1,000億円の売上拡大)

4

モーター事業の収益拡大

5

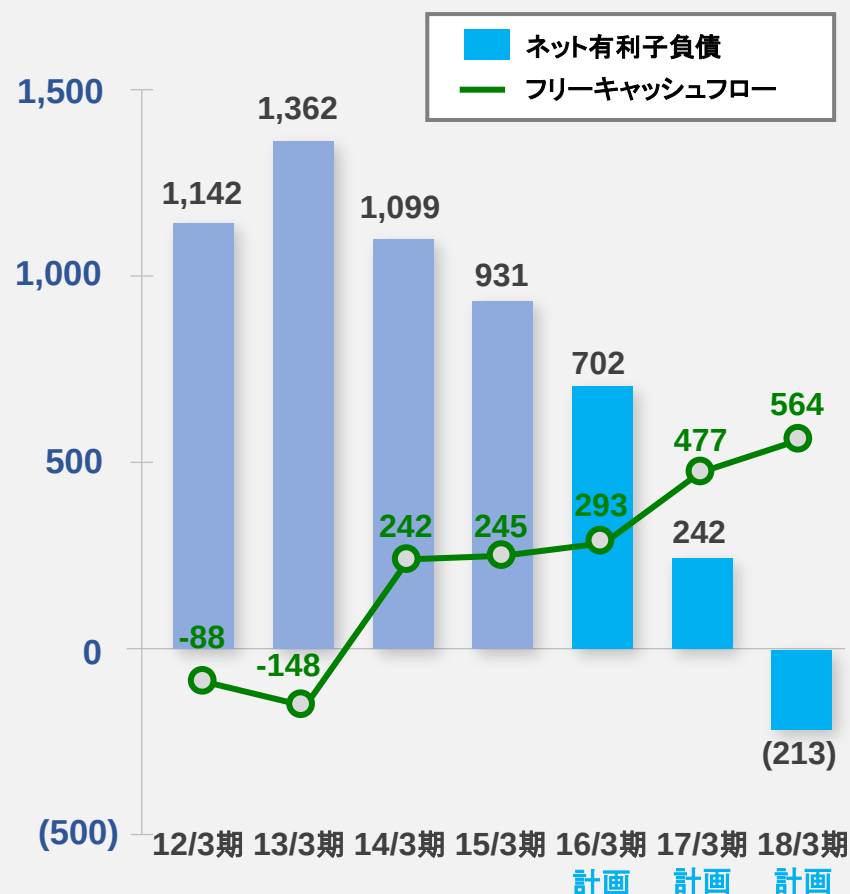
計測機器の収益大幅拡大

6

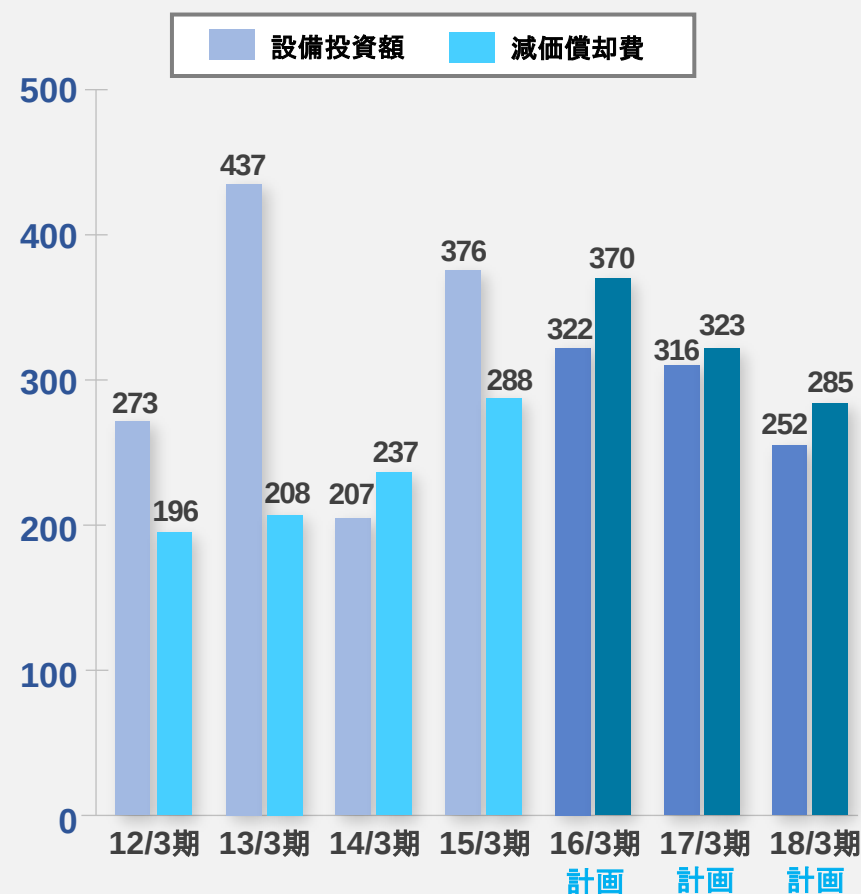
J3DDの単月黒字化

フリーキャッシュフローの増大が見込まれ、
大型M&Aが実行されない場合には、今後も更に現金が増加へ

ネット有利子負債とフリーキャッシュフロー計画



設備投資額と減価償却費計画



将来のさらなる株主還元増大に向けた成長投資

バンワIの補完施設として
バンワIIの取得



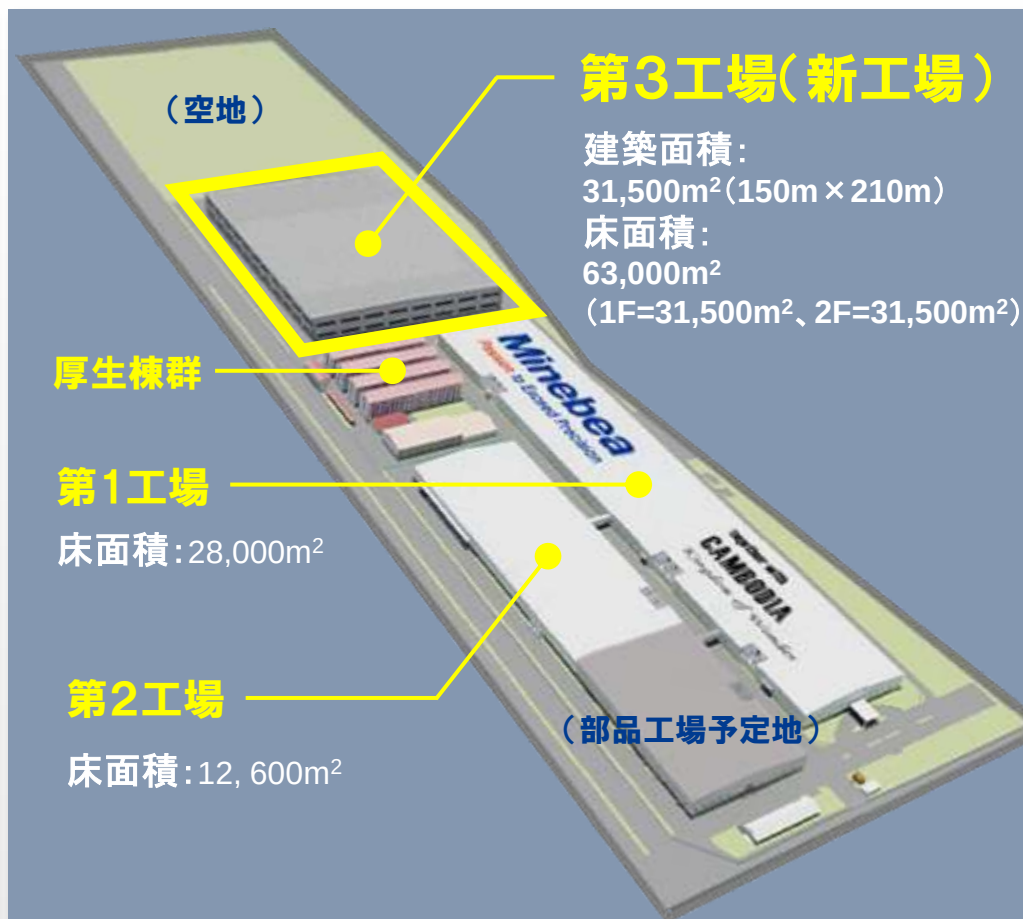
バンワII

土地面積: 25,600m²

床面積: 11,900m²

(うちクリーンルーム380m²)

現カンボジア工場の隣接地に2階建工場建築へ



配当方針

15/3期 期末配当 **6**円/株 計年 **12**円/株

16/3期 予想配当 中間配当 **未定**
期末配当 **未定**

**16/3期は配当性向20%程度を目途に、
配当水準の向上にも努める！**

「当社は、経営環境を総合的に勘案し、継続的に安定した利益配分を維持しながら、株主資本の効率向上と株主へのより良い利益配分を第一義とし、業績をより反映した水準での利益還元をはかることを基本方針といたします」

自己株式戦略

・経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行

16/3期の一株当たり純利益は20%以上の増加を見込む

(百万円)	2015年3月期	2016年3月期予想			前年比 伸び率
	通期	上半期	下半期	通期	
売上高	500,676	294,500	355,500	650,000	+29.8%
営業利益	60,101	28,400	38,600	67,000	+11.5%
経常利益	60,140	27,900	38,100	66,000	+9.7%
純利益	39,887	20,200	27,800	48,000	+20.3%
一株当たり 純利益 (円)	106.73	54.03	74.35	128.38	+20.3%

為替レート	15/3期	16/3期想定
US\$	109.19円	118.00円
ユーロ	139.38円	130.00円
タイバーツ	3.37円	3.60円
人民元	17.60円	19.30円

ミネベア株式会社 決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。